

# 世界遺産 学びの旅シリーズ 特別セミナーのご案内

世界遺産をテーマとした旅の魅力を200%感じていただくために、  
世界遺産の第一人者・古田陽久所長を講師に特別セミナーを開催!

人類にとってかけがえのない共通の財産である「世界遺産」。ユネスコの世界遺産リストに登録されている物件は788件、世界遺産物件を有する国は134カ国に上ります。この「学びの旅」シリーズでは訪れる国々の自然や文化の多様性に富んだ世界遺産を通して、その顕著な普遍的価値、素晴らしさ、魅力に触れていただきます。

このセミナーは「学びの旅」をより価値ある発見の旅にさせていただくためのプログラムです。セミナーのみのご参加も可能です。皆様のご参加をお待ちしております。



サンピエトロ大聖堂 ©世界遺産総合研究所

- 会場: JTB本社20階大ホール
- 料金: 無料
- 募集人員: 先着150名様

セミナーでは専門家のレクチャーの他、各国観光局によるビジュアルな映像での紹介、ワインの試飲や景品の抽選会など楽しいイベントも用意しています!

<p><b>1 スーパースター・ヴァーゴで行く世界遺産 洋上セミナー&amp;アセアン三国学びの旅</b></p> <p>6月21日(火) 13:30 16:00</p> <p>東南アジアのタイ、カンボジア、ヴェトナムには、ヴェトナムの「ハー・ロン湾」などの自然遺産が3物件、カンボジアの「アンコール」、タイの「古都アユタヤと周辺の歴史地区」などの文化遺産が7物件の合計10物件です。世界無形文化遺産は、カンボジアの「王家の舞踊」、ヴェトナムの「宮廷音楽ニャー・ニャック」の2件が選定されています。本講座では、タイ、カンボジア、ヴェトナムの世界遺産と世界無形文化遺産をテーマに取り上げ、アセアン三国に古く栄えた王都への旅へと誘います。 〈学びの旅催行時期:9月末〉</p>	<p><b>2 日本の世界遺産を 制覇しよう!</b></p> <p>7月29日(金) 13:30 16:00</p> <p>本講座では、日本の世界遺産をテーマに取り上げます。「世界遺産とは何か?」という基本的な知識と認識、「世界遺産リスト」に登録されている日本の「屋久島」などの自然遺産や「白川郷・五箇山の合掌造り集落」などの文化遺産の特質と魅力、これから世界遺産登録をめざす「石見銀山遺跡」、「平泉の文化遺産」、「古都鎌倉の寺院・神社ほか」などの暫定リスト記載物件、それに、「富士山」、「出羽三山」、「長崎の教会群」など全国各地での世界遺産登録運動の動きと実践的取組みを紹介したいと思います。そして、日本の世界遺産制覇の旅へと誘います。 〈学びの旅催行時期:9月末より〉</p>
<p><b>3 故ヨハネ・パウロ二世と新ローマ法王 ヴェネディクト16世の故郷を巡りながら キリスト教の文化遺産に触れる旅</b></p> <p>8月26日(金) 13:30 16:00</p> <p>ヨハネ・パウロ二世の逝去に伴い、コンクラーヴェで、ヴェネディクト16世(ラツィンガー枢機卿)が新ローマ法王に選出されました。本講座では、イタリアとヴァチカンにまたがる「ローマの歴史地区、教皇領とサン・パオロ・フオリ・レ・ムラ聖堂」、故ヨハネ・パウロ二世ゆかりのイタリアの「アッシジのサン・フランチェスコ聖堂と関連建造物」、生まれ故郷であるポーランドの「クラクフ」の歴史地区、そして、新ローマ法王ヴェネディクト16世の生まれ故郷であるドイツのバイエルン地方のほか、「ケルンの大聖堂」など世界文化遺産に登録されているキリスト教建築物の顕著な普遍的価値を学び、これらの地を訪ねる旅へと誘います。 〈学びの旅催行時期:11月〉</p>	<p><b>4 カリブ三国 世界遺産学びの旅</b></p> <p>9月20日(火) 13:30 16:00</p> <p>カリブ三国、すなわち、キューバ、ドミニカ共和国、ハイチの世界遺産は、キューバの「デセンバルコ・デル・グランマ国立公園」などの自然遺産が2物件、ドミニカ共和国のコロンブスゆかりの「サント・ドミンゴの植民都市」、ハイチの「シタデル、サン・スーシー、ラミエール国立歴史公園」などの文化遺産が7物件の合計9物件です。世界無形文化遺産は、「トゥンパ・フランセサ、オリエンテ地方の同胞音楽」など2件です。本講座では、カリブ三国の世界遺産と世界無形文化遺産をテーマに取り上げ、躍動感あふれるリズムと共にカリブ海への旅へと誘います。 〈学びの旅催行時期:12月〉</p>
<p><b>5 日豪交流30周年記念・ オーストラリア世界遺産学びの旅</b></p> <p>10月25日(火) 13:30 16:00</p> <p>2006年は、日豪両国間の友好協力基本条約が締結されてから30周年となる記念すべき「日豪交流の年」を迎えます。オーストラリアの世界遺産は、「グレート・バリア・リーフ」などの自然遺産が11物件、メルボルンの「王立展示館とカールトン庭園」の文化遺産が1物件、先住民アボリジニーの聖地「ウルル・カタ・ジュタ国立公園」などの複合遺産が4物件の合計16物件で、暫定リストには、シドニーの「オペラ・ハウス」など2物件がノミネートされています。自然遺産と複合遺産の数は、世界一です。本講座では、オーストラリアの世界遺産をテーマに取り上げ、オーストラリア大陸への旅へと誘います。 〈学びの旅催行時期:2006年1月または2月〉</p>	<p><b>6 バルト三国外交関係開設15周年記念・ 世界遺産学びの旅</b></p> <p>11月22日(火) 13:30 16:00</p> <p>2006年は、バルト三国と日本が、外交関係を開設して15周年を迎えます。バルト三国、すなわち、リトアニア、ラトビア、エストニアの世界遺産は、ヴァリニユスの歴史地区、リガの歴史地区、ターリンの歴史地区などの文化遺産が5物件です。世界無形文化遺産は、「バルト諸国の歌と踊りの祭典」、「リトアニアの十字架工芸」、エストニアの「キヌス地方の文化空間」の3件が選定されています。本講座では、バルト三国の世界遺産と世界無形文化遺産をテーマに取り上げ、バルト民族のエスニシティを体感できる旅へと誘います。 〈学びの旅催行時期:2006年3月〉</p>

## 【講師プロフィール】 古田陽久所長



1951年、広島県呉市生まれ。1974年、慶應義塾大学経済学部卒業。総合商社に勤務後、1989年8月に郷土の広島に帰り、シンクタンクせとち総合研究機構を設立。1992年に「世界遺産」というテーマに巡り会う。これまでに、約100冊の世界遺産等に関する本を出版しており、世界遺産の研究に関しては、わが国のフロンティアの一人。中国の大学の客員教授を務めるなど、その活動の舞台を世界に展開している。

## 【世界遺産総合研究所】

世界遺産を専門の研究テーマとする民間の研究機関。長年、世界遺産の研究、出版等に取り組んできた民間のシンクタンクせとち総合研究機構の中心的な役割を担う。全国各地での世界遺産登録に向けての勉強会や研究会への出講、世界遺産化可能性調査、コンサルティング等を行っている。インターネットでは、「世界遺産と総合学習の社」というホームページを開設。先ごろ、アクセス件数も50万を越えるなど多大な関心を集めている。

「世界遺産と総合学習の社」  
<http://www.dango.ne.jp/sri/>

## お問い合わせ・お申込み

### JTB世界遺産デスク (JTB教育旅行東京西支店内)

〒151-8525

渋谷区初台1-46-3 シモモビル5F

TEL. 03-5351-0031

FAX. 03-5351-0044

営業時間:月曜日~金曜日(祝祭日除く) / 9:30~17:30  
担当:金子・鈴木・宗本